

小規模多機能型居宅介護事業所及び認知症対応型共同生活介護の自己評価票

(網掛け部分は外部評価の調査項目)

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	I 理念に基づく運営 1. 理念の共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を、つくりあげている。 (高齢者の尊厳と自立を守る)	○	コムスの誓いとして朝礼時や会議の時に、スタッフ間で、唱和している
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を常に、念頭におき業務遂行の折にもケアに活かしている		
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	定期的に、運営推進会議を開催して地域との交流 及び、家族との連携が上手く図れるよう取り組んでいる		
	2. 地域との支え合い			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	立地的環境により、多々 難しい点もあるが対面時には、常に笑顔を忘れずに挨拶をしていくよう心がけている		
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老入会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域住民にホームのことが詳しく又正しく伝わっていない為、出来るだけ 地域との交流に努めている (隣接との保育園と交流あり)	○	市政便りや、地域の広報誌にホーム紹介などを記載したり、敬老会にスタッフがボランティアとして参加して少しずつ知名度を上げていく
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所々職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ホームの運営理念や役割が地域に理解されるよう啓発・広報に取り組んでいる		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	理解しており、評価された事柄については改善すべき事は、出来る限り即時、対応および善処している	○	自己評価については主観的にしか観れず、第三者・他者（上司・同僚の評価）の意見を参考にして反省・努力する
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議内容を記録に残し、それを元に、現状を見つめ直し、スタッフ間での報告や話し合いの場を設け、サービス改善に活かしている	○	会議に参加するスタッフが、限られており、今後は一律に参加する機会を増やしていく
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村との連携に努めて積極的に行動している。 又、2ヶ月に一度の割合で運営推進委員会を開催し情報交換している		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	活用し、家族に説明・アドバイスをしている。		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修により、虐待防止についての事柄を学び又、プロの介護者としての意識を常にふまえた心構えで接しており、スタッフ一同・・・“虐待ゼロ”にこころがけている		
	4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関しては適宜、書面に於いて家族および利用者に詳細に説明をして理解を得、納得して頂いている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情などを受け入れる窓口を設けており又、スタッフが即時対応して善処している		ご意見箱を設置して、利用者、家族の“生”の声を頂いている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族へ日常に関する情報や月々の行事をコムスン便りとして毎月送付。また健康状態に問題点が生じた時は、即刻電絡連絡などの対応に努めている	○	入居者の身体状況により、金銭管理はホームにて管理しており買い物をする時などは、本人の希望を聞いて一緒に買い物について行き支払いをしている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催しての意見交換、および気付き、苦情などのご意見箱を設置して家族からの“生”の声を頂き改善策を考慮している		
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に一度、ユニット別にカンファレンスを行うと共にホーム全体で会議を開いて意見交換・情報提供・ケアの改善などの機会を設けている		
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者のケアを万全に行う為に、スタッフの勤務ローテーションを組んでいる (4交代制とし、行事などでは必要人数確保)	○	入居者のケアに、支障をきたさないよう、スタッフ個々に自己の体調管理に努めている
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	スタッフの業務上の悩み・ストレス解消の勧め・その状態にある者には随時、面接を行い対応している。		
	5. 人材の育成と支援			
19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	当ホームを選んで応募、面接に来ていただいた事に感謝し、双方の意見・希望が合致するよう説明していく	○	入居者に一番、利益（喜んでいただく）人物を採用していきたい。 スタッフには個々の特性、能力を十分に業務に自己表現ができるよう配慮している

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	内外部の研修参加を、勧めスタッフの自己向上のバックアップをすると共に指導・責任を啓発している	○	スタッフに指導する能力向上を維持する為、自己研鑽に努めていく
21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	スキルアップの為に研修を、スタッフの職種に応じて計画・実施してる		
22	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会の開催・資料配布や、お互いの情報交換をして良い点を取り入れサービスの質の向上に取り組んでいる		
23	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	スタッフの様子観察を怠らず悩みがあれば相談にのったり又、年に数度飲み会など開き親睦を深めている		
24	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	各ホームを廻って常に、状況把握に努めている		
	II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
25	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入居者一人一人の個性・状態を把握しており、傾聴・受容に努めている	○	認知的に他者（介護者）に正しく自己主張しにくい為、介護者として主観的判断を避け客観的に判断することを、こころがけていく
26	○ 初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族の意見、相談、苦情をこころよく受け止め、不信・不満感を除去してお互いの信頼関係を維持する		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の話をよく聴き情報を集めて状態像・生活歴・入居者と家族の求めている事を把握する	○	アセスメントをして、課題を明らかにし、ケアプランに活かす
28	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	新しい環境に順応できるよう“心”のケアに努めコミュニケーションを図る	○	本人の、これまでの生活パターンを熟知し、背景を知る。又、身体的な事症状などを理解してケアの対策の参考にする
	2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
29	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホームの方針をふまえ、入居者とスタッフは皆家族であり“親”であり“娘”であり“孫”である。という気持を持って接している		
30	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族との連携を保ち、本人にとって最善のケアが出来るような関係を築いている	○	家庭の事情でホームに来訪回数の少ない家族には、定期的に電話連絡などで現状報告などしている
31	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居者や家族・職員と相談、協力して行事・外食・旅行などの機会を作っている(花見・食事会・夏祭り・運動会やクリスマス会・バスツアーなど)	○	地域の行事参加ができてない。地域の受け入れなど難点が、多々ありいまだ実現に至っていない
32	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族の来訪・入居前からいきつかけの美容院での整髪など、スタッフが同行し、支援している		
33	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支えあえるように努めている	入居者同士のバランスがよくとれており、性格・身体症状の違いなどをカバーし、それぞれ上手くいってる	○	トラブルにならないように日頃より入居者の行動・性格を把握しており対応に努めている
34	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後もフォローを行い、家族との相談・連絡をとっている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1. 一人ひとりの把握			
35	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人一人の人格を尊重し、本人の能力に合わせた対応に努めている (傾聴・受容・共感)を主とする		
36	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者個々の背景、過去の経験などを活かしたケアに努めている		
37	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	個々の一日の生活パターンを把握して本人のペースに合わせ個別的ケアを実践している		
	2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
38	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	定期的な家族会開催にて、意見交換や毎月ホーム会議・ユニット会議を設け改善策・アイデアを反映し入居者にとって最善の介護計画を作っている		
39	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入退院・レベル低下・行動障害など介護計画に変化が生じたらスタッフが話し合い、それを元に入居者の家族に相談・報告しケア内容を改善する		
40	○個別の記録と実戦への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録に残し、状態把握に努めている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族との食事・外出および、数日の帰宅許可 室内外のレクリエーションや個々に沿った リハビリ・その他、多くを支援をしている		
	4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
42	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の消防署とは消防訓練や救命講習などを 受けたり、市民センターには必要に応じて パンフレットを貼付させてもらってる	○	近隣のレストラン（徒歩10分位）での 入居者の食事会など、快く受け入れて もらっている
43	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	他施設の人達とコミュニケーションを 図り、連携して情報交換の中から サービス拡大に努めている		
44	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとは常に連携を保ち 理解・支援を受けている。又、運営推進委員会 に於いても適切なアドバイスを受けている		
45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	認知症者の受診の困難さを理解し、受診を しやすい医療機関やデンタルコムスン。また 訪問看護などの確保をしている	○	① 月に一度の提携医の往診 ② 必要時に於いての優先的な診療 ③ 訪問看護師による健康チェック ④ 入院の受け入れ先確保
46	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医を確保しており、定期的な 往診、受診、健康相談などの配慮 をしている		
47	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	訪問看護師に介護のポイントや入居者の 体調について、その都度、説明や 指導を受けている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
48	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	出来るだけ早期に、退院できるよう医療機関との情報交換や相談できる状況・状態を維持、確保している	○	本人や、家族の要望があれば適宜希望の医療機関との連携も保っている	
49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けた介護についての受け入れをしており家族とホーム。提携医との協力体制を確保実践してる	○	ターミナルケアについて、ホーム内でカンファレンスや勉強会をしている	
50	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医療機関との連携を深め、支持の元に訪問看護師による処置、精神的、身体的介護のサポート改善に向けて、カンファレンスを行い本人の負担軽減と精神的緩和を維持できるように努めている	○	家族の希望、本人の気持を重視してスタッフにもケアの必要性・かかる対応の大変さを理解してもらい対応に取り組んでいる	
8	51	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移転先の確保の充実を図っている (ケアホーム・病院・特養などに出向き情報交換を行っている)		
	IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重				
52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	研修や会議にて指導し、対応について徹底している			
53	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意思を尊重し、自己決定できるようにしている	○	認知症者の為、正しく自己決定できない場合があり、その時は介護者の判断を優先することもある	
54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者、個々のペースに合わせた介護に心がけている			

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
55	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	理容師が定期的にホームまで出張してカットしている。また、行きつけの美容院での整容などの対応もしている	○	季節に合わせた衣服の調節、洗濯をした清潔な物を常に着衣してもらう。男性入居者の髭剃りの慣行・その他
56	○食事を楽しむことのできる支援 重食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の能力に合った手伝いを、依頼し昼食時に於いては職員と入居者が同じ場所で会話を楽しみながら食事してる	○	嚥下状態・食事摂取量の把握・食べ残しからの健康状態把握、好き嫌いのチェック。精神的緩和に努めている
57	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	多様なメニュー・盛り付けの工夫や嚥下状態に合わせた調理の工夫に心がけ対応している	○	常食・軟飯・刻み食・ミキサー食やとろみ剤を使用して個人的に安全に摂取できるよう努めている
58	○ 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄パターンを把握しており、その都度、声かけ、誘導している。また下着使用の方でも体調不良の場合はパットを使ったり臨機応変に対応している	○	排便・排尿確認チェックし、その中から便秘対策、水分摂取量の参考など健康管理に努めている
59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	定期的入浴は、もちろん本人の要望や身体の不潔状態が生じたときは、その都度、適宜対応している	○	体調不良にて入浴できない場合は清拭や下半身清拭、及び下着交換を行っている
60	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	室内の採光調節・室温調節・心地よい寝具・寝衣に気をつけ気持ちよく過ごせるよう努めている	○	昼夜逆転にならないよう日中の活性化を図り精神的にも落ち着けるように環境にも留意している
	(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個人の好み、背景を把握し又、身体能力に合わせた対応に心がけている	○	趣味・好み・職業歴・家族構成・好きなテレビ番組・草花観賞・その他など個人的把握に努める

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
62	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本社の方針にて現在、入居者自身の金銭所持が不可能となっている。その為、買い物の要望に対しては“立替金制度”を利用しスタッフが買い物の代行をしている	○	心身の活性化・気分転換などを図る為、極力買い物などの体験は今後も勤めていきたい。 (外出し、品物を見たり選んだりする行動の中から心身に刺激・活性を与えていく)
63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節・外気温・天候などを考慮の上散歩、外出や戸外でのレクリエーションをしている		
64	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年に数回、食事会やバスツアーなどのミニ旅行を実施して家族と、入居者に喜んでもらえるよう努めている		
65	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎや本人が外部に連絡する時などはプライバシーを保ち、快く対応している		
66	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	スタッフ全員が笑顔で対応しており接遇の徹底をしている (常に上司より指導を受けている)	○	家族や、お客様の来訪に関しては必ず玄関まで出迎えにいき接待には“お茶・御菓子”を用意している。又、帰宅される場合も必ず職員が玄関まで見送りをしている
	(4) 安心と安全を支える支援			
67	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修・常日頃の指導を元に、スタッフ一同、正しく理解をしており当ホームでは“身体拘束ゼロ”を心がけている		
68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関に施錠をしないよう心がけている	○	やむおえず施錠する場合は家族に理由を説明納得の上、許可を取っている (外出傾向・身体的に負荷を生じる場合など)
69	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に入居者を見守りやすい場所にて、ひとり一人の位置と様子を確認している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人の身体的能力や理解力に合わせて、対応している	○	刃物類、誤飲しやすい物、薬物など管理に留意し、また夜間に於いては施錠にて確保している
71	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアル熟読・勉強会に参加し、知識を吸収すると、共に自己研鑽に努めている		
72	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急・救命講習や緊急時のマニュアルがある	○	スタッフは定期的にマニュアルに目をとおり熟読の上、即時対応できるようなところがけていきたい
73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的な、消防訓練を実施しておりスタッフに非常時の対応や、流れを把握してもらっている	○	入居者の身体的状況に合わせた非難の対応をプロの救急隊に実践指導を受け救助方法の拡大化を図りたい
74	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	入居時の説明、入居後の本人の身体状況に合わせて、その都度、説明をする		
	(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
75	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者の日常観察を怠らずスタッフ間で、申し送りを徹底し異変に関しては記録に残し変化の見落としを防止してる	○	① 個別のバイタル基準値の把握 ② 顔色、表情の劣化。食欲減退 ③ 活動性低下
76	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	申し送りにての把握や理解不足の時は各自で処方箋に目を通し理解している。又、朝礼時誤薬撲滅四則を唱和している	○	薬の準備・内服の介助などでは複数のチェックをして安全な内服管理にところがけている
77	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	マニュアルを熟知しており実践している	○	① 食品、飲み物による対応 ② 身体活動による対応 ③ 薬物による対応

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔内のケア及び、義歯の定期的な消毒管理をしており、介助時には口腔内の異常チェックに努めている 又、嚥下困難な入居者にはプロの指導を受け独自の方法にて介助している	○	デンタルコムスのスタッフに相談指導を受けている
79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	専門誌や本社の栄養士作成の献立表を参考にしたり、ホームで勉強会を開き栄養・水分摂取の確保に努めている	○	毎回の献立内容、食事や水分摂取量を記録に残しスタッフ間で情報を共有している
80	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症対策のマニュアルがあり、スタッフ間で勉強会を開き知識習得に努めケアに活かしている	○	感染の媒体者とならないよう感染予防に努めており、又、自己身体管理に留意している
81	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	マニュアルに沿った管理を実践してチェック表に確認実行の上記録してる	○	① 食品は、その日の内に使いきる ② 調理後2時間以内に摂取してもらう ③ 調理用具の消毒 ④ 賞味期限の厳守徹底
	2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり			
82	○ 安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	違和感や威圧感を感じさせないように玄関周辺は、家庭的な雰囲気作りの配慮をしている		
83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に関する、作品や生花を飾って家庭的な雰囲気の中で居心地の良い空間づくりに努めている	○	リビングの横にトイレがあり排泄後の臭いが、残る事があり食事中の時など違和感、不快感を与えていると思われる
84	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	入居者の趣味の一致、正確の合致にてスタッフが、その都度、配慮対応にて空間を確保している		
85	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし本人が居心地よく過ごせるような工夫をしてる	入居時に説明していることから個々に合った室内のセッティングがされてる	○	ベッドのみの部屋や、沢山の家具を置いている部屋、又、壁面など空間を利用して壁掛けや時計、カレンダーと個性的な部屋がある

番号		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
86	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	失禁時の尿臭などの換気の徹底と外気温と比例して室温の調整を常に心がけている	○	温度計を各居室、リビングに設置しており訪室時には必ず温度確認をして適温維持に努めている
	(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
87	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりの設置、照明の工夫、浴槽内の滑り止め、段差の床など全てに於いてバリアフリーになっている		
88	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	各居室入り口にネームプレート設置している。又、浴室の入り口には“湯”と明示したのれんをかけてる	○	環境整備に心がけ入居者に快適な状態で過ごしてもらえるよう清掃に努めている
89	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	天気の良い日はベランダに出て花壇の草花を観賞したり外気にあたることで心身に爽快感を味わってもらえる	○	ホームの駐車場にて花見をしている 今後、イベント企画を沢山、考案している(夏祭りも予定している)

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
V サービスの成果に関する項目		
90	○職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
91	○利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input checked="" type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
92	○利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	○利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	○利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input checked="" type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	○利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない

番号	項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
96	○利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
97	○職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
98	○通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input checked="" type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
99	○運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input checked="" type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
100	○職員は、生き生きと働いている	<input checked="" type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
101	○職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
102	○職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="radio"/> ②家族の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

